

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム まなべ

## 目標達成計画

作成日：平成 22 年 3 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	23	一日中何かを訴えたり、不愉快そうな表情や怒ったような表情の利用者様がいる。本人の気持ちや意向を充分くみ取ることができていないからではないだろうか。	安心の表情、気持ちよさの表情が利用者に見られる。	・機嫌がよいとき、笑顔が見られる時はどのようなときか。どうしてかを常に意識する。 ・話をじっくり聞くことにより意向を掴む。 ・職員がどのような言葉を掛けると安心の表情が見られるかを考える。 ・以上のことを書き留め情報を共有する。	6 か月	
2	45	入浴は、嫌いな方を除いて、できる限り毎日、希望者全員に楽しんでいただくことができていない。全員をとやうな気持ちが強いため、利用者をあせらせてしまい、ゆったり、気持ちよくとまでなっていないのではないだろうか。職員のペースで入浴をしているのではないだろうか。	利用者と職員がお互いゆっくり、じっくり向き合い、信頼関係を深め、心身共に満足感を持つことができる。	・移動、衣服の着脱、洗身等残存機能を大切にすることは本人にさせていただく。 ・利用者の話を傾聴する。・職員がゆったりした気持ちで接する。	3 か月	
3	21	利用者同士の関係がうまくいかず、孤立気味の利用者がある。仲を取り持とうとする職員の声掛けも受け入れず、ますます孤立化を深めている。	利用者同士がお互いに声を掛け合い、共に楽しみ笑顔で過ごすことができる。	孤立しがちな利用者の自尊心を傷つけず、成功体験が味わえるようなレクリエーションを行う。利用者同士助け合える場面を演出する。	3 か月	
4	31	介護職員は、利用者の心身の状態を充分把握しているとはいえない。また飲んでる薬の理解も充分とはいえない。看護職員に頼りすぎるところがある。	介護職員が看護職員に頼ることなく、異常の早期発見ができるようになる。また、薬に関しても知識を深める。	利用者一人ひとりの健康状態を観察記録ノートに記入し、異変を見逃さないようにする。毎月のケース会や申し送り時に話し合う。また、薬についても変更や追加の確認をし、利用者の経過観察を怠りなくする。	6 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。